

2 February

# まちづくり通信



発行 飛騨高山まちづくり本舗  
住所 〒506-0845  
高山市上二之町 44-4  
電話&FAX 0577-33-5282  
hompotakayamashishouren.net

## 伝統の行事に 市民ならではの参加

「りんくるりん二十四日市」  
1月24日  
本町通り三丁目界限



飛騨の冬の風物詩、二十四日市。今年は、冬晴れの日となり、月曜日にもかかわらずたくさんの人で賑わいました。行き交う人たちの中にも、先生といっしょにあそびに来た園児や見学の小学生の黄色い帽子の列もたくさん見受けられました。

二十四日市に市民活動がコーナーをもって四年目、今年はまちづくり本舗が空き店舗に市民が活用できるスペースを設けました。市民グループがさまざまな呼びかけをし、二十四日市だけの企画やおたのしみスポットができました。



●おやすみ処  
にぎわう通りから一步入って、どうぞごゆっくり。市民の街頭活動の詰め所としても便利なスポットとなりました。



♪知らない人に～  
ついていけない～  
イカイカイカ～♪



誘拐防止啓発ソングライブ by KiraKira

子どもたちが  
自分で誘拐から身を  
守ることが大事だよ

## ●多大な支援ご協力に感謝

台風 23 号、新潟中越地震、インド洋沖地震津波災害と複数グループが募金活動を行いました。それぞれ予想をうわまわる金額に驚くばかり。現地と直接つながって行動する市民グループが多いのは市民活動が元気な証といえるでしょう。



「二十四日市」は物語る  
むかしもむかし 江戸の時代  
山里の人びとは  
お正月をむかえるその前に  
飛騨の中心 高山のまちに集まってきました  
手づくりの日用道具を売って 現金を得るためです  
そうした商いのひろばは  
上二之町にはじまり 安川通り 本町へと移り  
今では冬の風物詩として観光客の心もさそいます  
ものが豊かになるとともに  
先だつものは まずお金という今の時代  
お金のねうちも くらし方も 時間の感覚も  
すっかりさま変わりしたかのようです  
それでも昔と変わることなく  
二十四日市に息づいているものは  
近郊から人びとが雰囲気求めて訪れる伝統  
知り合いに会える予感 語らいのたのしみ  
今も昔もこれからも  
二十四日市は  
雪の季節のほっこりとした 出会いのひろば  
(写真パネルひだ写真風土記より)



●託児ルーム開設中！  
【ちびっこひろば】  
授乳、オムツ替え、ひと休みができるお子さん連れに必要なうれしいひろば。寒い時期でも商店街を歩いて楽しんでもらえる工夫を、今年もこんなかたちで実現してみました。



●心のこもった本づくし  
【ニコニコブックス】  
夏の夜市でおなじみ、ハンモックのゆられ読み本屋が、カフェの二階通路で、こだわりの本屋を展開。店主のワクワク感が満ちあふれた空間は、二十四日市限定。カフェとともに夜 10 時まで賑わいました。

●【ワンデイカフェ】  
空き店舗が見違えるように変身。なんでもこなす今どきの若者パワーに乞う期待！

★市民企画を楽しみながら、これからも多機能で、楽しい予感のする何でもありのまちの魅力を模索していきましょう。次回企画にもどうぞご参加下さい。



風呂敷の忍者巻き姿が雪景色にはえるよ

## こども忍者募集！ こどもまち探検 2・20

お子さんやお孫さんにまちなか探検の忍者修行にしませんか？  
ゲームを交えながら新しい発見や路地裏を体験します。

日 時：2月20日 日曜日 10:00～12:00

集 合：安川通り商店街 まちひとぷら座かんかこかん

対 象：小学1年～3年

持ち物：ふろしき、参加費300円

協 力：あそび・劇・表現活動センター アフタフ・バーバン

申込み：まちづくり本舗 33-5282 (FAX兼)

### 活動市民の新年の集い

#### 熱々の鍋を囲んだ『<sup>しんねん</sup>新年会』

2/8(火)夕方より、仕事や家事のかたわら市民活動に心を注ぐ15人が本教寺(西町)に集まりました。鍋の具材切りをしながら、災害支援で訪れた新潟の話が飛び出し、駄菓子屋プロジェクト〇〇屋(まんまるや)メンバーがまんまる型の食品を持ち込んだりと、活動市民ならではのおしゃべりと共にみごとなキムチ鍋が完成しました。

顔ぶれがそろったところで、郷土出身、日本のヘレンケラーと称される中村久子さんの生涯を真宗大谷派高山教区が大型紙芝居に作製した『光の人』に見入りました。漫画と写真で構成され、録音された音声とともに一枚づつ画面を変えていくというもの。無料貸出しできますので、集まりなどでご活用下さいということです。

新年会の由来は、「いうことを休めよ他郷苦辛多しと 同袍友有り自ら相親しむ 柴扉曉に出づれば霜雪の如し 君は川流を汲め我は薪を拾わん」という、江戸末期の学者広瀬淡窓の漢詩から、水を汲み、薪を拾う部分に、市民活動がそれぞれの役目を担い合えるまちづくりを重ねて「薪」の字をあしらったもの。必要な時、必要に応じて動ける関係作りが、新年会の開催をかわきりに少しずつ広がっていけばと願います。



### 道路でイベントをするための

#### 「路上イベントにおける道路占用について」の勉強会から

1月13日午後7時半から、安川通り商店街かんかこかんにて勉強会がありました。高山警察署、高山市建設課の方とイベント時の申請方法について意見交換を行い、手続きにおける注意点などをお聞きしました。

現在、各商店街ではそれぞれに申請しているため、手続きが煩雑になっています。各商店街で事前に連絡を取り合い、調整する事で食い違いやトラブルを事前に防ぐ事ができると提案があり、活発な意見交換が行われました。

今後の動きとして高山市が「イベント等における道路使用年間計画表の作成」を予定しています。



### ★ かんかこかん information ★



＝まちの縁側＝

まちひとぷら座かんかこかん  
ホームページができました

施設利用のご案内や、情報交換・交流掲示板 “かんかこフォーラム”など、どうぞご利用下さい。

日 時	内 容
2月・3月	手づくり絵本講座 2月24日(木) 3月3日(木)10時～12時 『子どもの思い出を絵本に』 ※託児あります 問合せ・申込み 33-5055 こどもひろば

●まちひとぷら座かんかこかん <http://www.takayamashishouren.net/kankakokan/index.shtml>

●ドリーミン Web サイト <http://www.takayamashishouren.net/d/>